



とりでファミリー・サポート・センター 協力会員を募集

☎ とりでファミリー・サポート・センター (市社会福祉協議会内) ☎ 74-2088



とりでファミリー・サポート・センターでは、地域での子育てを手伝う協力会員を募集しています。子どもと関わる有償ボランティアを始めませんか。◎子育ての手助けをしてほしい人(利用会員)と子育てを支援したい人(協力会員)がお互いを支え合う集まりです。

◆対象・活動内容など

対象 市内在住の心身ともに健康な方(資格・経験・性別不問。特に藤代地区・ゆめみ野地区の方を募集しています)

活動内容 保育園・幼稚園の送迎、習い事の送迎、放課後子どもクラブのお迎え・預かりなど

預かる子ども 生後6カ月から小学6年生(病気のときは預かりません)

その他 活動は曜日・時間帯限定、送迎のみ・預かりのみも可。活動時の交通費・おやつ代・食事代などは、利用会員の実費負担

▶活動時間と報酬

活動日	時間	報酬(1時間当たり)
月～金曜日	7:00～19:00	700円/子ども1人
	早朝(6:00～7:00) 夜間(19:00～22:00)	800円/子ども1人
土・日曜日、祝日 年末年始	6:00～22:00	800円/子ども1人

◆協力会員の声



送迎 元気なあいさつと会話で笑顔になります
守屋稔さん

週2回、学校から習い事までの送迎をしています。子どもの元気なあいさつには、私も元気をもらえますね。楽しく感謝されるボランティアです。



預かり 丁寧なサポートで楽しく活動できています
渡邊利一さん・茂美子さん

小さなお友達と楽しく食事し、遊んでいます。笑顔と「おかわり」がモチベーション。些細な問題点も、センター側で丁寧にに対応してくれ、助かっています。

◆活動開始までの流れ

申し込み

センターに申し込み。窓口での説明を受ける日を決めます。

窓口で説明

活動内容の詳細などをアドバイザー*が丁寧に説明します。
*利用会員・協力会員をサポートする職員

入会手続き

活動する場合、入会手続きを行います。(登録は無料、身分証明書持参)

利用会員とマッチング

センターがマッチングします。登録後すぐに活動できない場合もあります。

事前打ち合わせ

アドバイザー立ち会いの上で、利用会員と打ち合わせします。

活動開始

活動開始です。困ったことがあれば、いつでもアドバイザーにご相談ください。

▶協力会員をサポートしています

サポーター基礎研修や救命法講習会、協力会員同士の交流会も実施しています。また、活動中の事故に備え、協力会員と利用会員の子どもは保険に加入します(保険料はセンター負担)。活動にかかる経費は、利用会員の実費負担です。

◆申し込み方法

まずはとりでファミリー・サポート・センターまでご連絡ください。◎利用会員としての申し込みを希望する方も同様にご連絡ください。(入会金1,200円。利用時は1時間当たり200円の助成を受けられます)

◆どんぐり保育園での休日保育が終了します

☎ 子育て支援課 ☎ 内線 1348

日曜日・祝日に実施している、どんぐり保育園での休日保育は3月末までで終了となります。4月以降は、とりでファミリー・サポート・センターをご利用ください。なお、今後の休日保育実施状況に変更があった際は市ホームページなどでお知らせします。

市長 Mayor's column コラム

心からの感謝を
皆さまへ



取手市長

藤井信吾

平成19年10月にスタートした本市長コラムも今回で最後の回となります。最初のコラムで、「将来を見据え先んじて手を打つ」、「役所意識と市民感覚のズレを近づける」ことをお約束させていただきました。誇れる郷土・取手をつくるために、未来志向を掲げ、生活者起点での対話による市政運営に努めてまいりました。

先月の本欄でご報告したとおり、社会増減において日本人の転入超過が平成30年から5年連続でプラスとなり、取手市が「選ばれるまち」となっていること、取手駅西口の区画整理事業に目処がつき、交通広場の整備・再開発への環境が整ったこと、市民の期待が大きい桑原地区でのイオングループの招致について事業者から賃料の条件

や目安が示されるなど大きな進展があったことを踏まえ、今任期の満了をもって取手市長の職務を終えることといたしました。

1期目に発生したリーマンショックに端を発する財政危機や、平成23年の東日本大震災での被害への対応、最近では、世界的規模での新型コロナウイルス感染症拡大の中での市民の皆さまの生命を守る取り組みなど事態改善のために総力で事に当たりました。このような危機が私の胆力を試し成長させてくれたと考えております。

一方、私が着任してからの16年間で取手市は他の自治体では経験したことがない、階段を駆け上がるような超高齢化が進行しました。平成19年には20%であった高齢化率が令和5年に

は34%を超え、75歳以上の方は実数で1万2千人増加したわけですが、取手市の要介護認定率は14.3%と全国平均を5%も下回る健全な状態を保っております。スマートウェルネスという施策に市民の皆さまが心を一つに合わせていただき、地域の中での皆さまの役割を生き生きと果たしていただいた成果だと考えております。

市政運営を通して知り合い関わった多くの市民の皆さまや議員の皆さま、全ての職員は、私にとってかけがえのない宝物です。取手市を愛し・思い、より良いまちを作りたいと念じ行動してくれる皆さまの力で、「ぬくもりとやすらぎに満ち、共に活力を育むまちとりで」が実現されることを固く信じ、ありがとうございます。